

---

～つながることの先に見えてきたもの～  
ごか保育園と五箇小学校の保小連携活動  
研究のまとめ

---



令和4年3月

隠岐の島町立ごか保育園・隠岐の島町立五箇小学校



## 1 研究の目的

### (1) 小学校、幼児教育施設の実態、課題

隠岐の島町五箇地区は、伝統的な行事が大切にされ、歴史と自然、人の調和があり、地域の人みんなで子供たちを見守り、育もうとする土壌がある地域である。

隠岐の島町立五箇小学校とごか保育園は、約300mの位置に隣接している。ごか保育園は、園児数45名で、「一人ひとりをのばす保育」を目指し、心もたくましく、温かい関わりの中で、思いやりの心を育み、自分を表現し、元気に遊べる子供を目標に保育を行っている。一方、五箇小学校は、全校児童83名で、「豊かな心を持ち、自ら学び考え、たくましく生きる五箇の子供を育てる」を教育理念として掲げ、やさしく、かしこく、たくましくをキーワードとして日々教育活動を行っている。



今まで、五箇小学校とごか保育園は、保小連絡会（1年授業参観、情報交換）、地域参観日の授業参観、行事での交流（小学校マラソン大会、ふれあい運動会）等を通して、お互いに交流を図ってきた。

しかし、何のために交流活動を行っているのか不明確になってきたこと、また、保育園、小学校共に、お互いの教育、保育についての認識不足等が課題として挙げられた。

### (2) 研究の目的

- ・保小連携、接続の取り組みを通して、五箇地区の豊かな地域素材・行事・人材を活かして、人とかかわる中で園児・児童のコミュニケーション能力を伸ばしていくこと
- ・アプローチプログラム、接続カリキュラムの整備
- ・交流活動の充実
- ・職員、教員のお互いの教育、保育についての理解の推進・共有
- ・職員、教員同士の交流の推進

## 2 重点的な取り組み計画

### (1) アプローチプログラム、接続カリキュラムの整備

- ・接続カリキュラム、アプローチプログラムの見直しを行う。

### (2) 交流活動の充実

- ・保育園から小学校へ昼休みに校庭へ行き、一緒に遊ぶ
- ・小学校総合的な学習、生活科の中での、園児との交流の単元を扱う。

### (3) 職員、教員の互いの教育、保育についての理解の推進

- ・保小合同研修会
- ・授業研究会（保育園職員参加）
- ・研究保育（小学校教員2名参加）
- ・学校教員による保育体験
- ・参観日における保育士の授業参観

### (4) 職員、教員同士の交流の推進

- ・園だより、校報を互いに配付しあい、掲示する。
- ・毎月の担当者会の実施
- ・交流活動に関わる綿密な打ち合わせ

### 3 主な取組の実際

#### (1) 子供の交流

〈令和3年度〉 【ゆめのいかだをつくろう】 年長児と3年生の交流活動

##### ○交流計画

- ・交流活動1 水遊びで仲良くなろう
- ・交流活動2 ゆめのいかだのこうそうをねろう
- ・交流活動3 **ゆめのいかだをつくろう(本時)**
- ・交流活動4 ゆめのいかだにのろう

##### ○本時のねらい

〈全体〉 異年齢間の交流を通し、相手の気持ちを考えながら（相手意識をもつ）主体的に異年齢の友達と関わろうとする力を培う。

〈小学生〉 年長児が安全に楽しく活動できるように、相手の思いを積極的に聞き出しながら、サポートすることができる。

〈保育園〉 3年生の姿や話しをしっかりと見たり聞いたりしながら、思い描いていたいかだを完成させよう

##### ○展開

- ・はじめの会
- ・ふれあい遊び
- ・ゆめのいかだ作り
- ・終わりの会

##### ○子供の様子

3年生と年長児との3回目の交流活

動で、互いに顔や名前を覚えており、少し緊張は見られるものの、和やかな雰囲気です活動がスタートした。時間内にいかだの完成はできなかったが、年長児達は自分が思い描いていた夢のいかだに近づき、嬉しそうだった。

以前は、自分のしたいことを優先的にしていた3年生児童が、年長児に声をかけたり、ほめたりする場面があった。また、「はじめはぼくがやってあげる」「〇〇さん、お手本見せてあげて」などの発言も見られ、どの児童も、お互いに協力し合いながら、積極的に活動に参加していた。

##### ○成果

打ち合わせを何度も行い、交流活動のねらいや互いのねらいを共有した結果、児童がいきいきと活動に取り組むようになっていった。その過程で、保育園職員と小学校教員との信頼関係も構築されてきた。また、短期間で、複数回の交流学習を行ったことで、交流の度に児童同士の自然な関わり合いがだんだんと増えていった。



## (2) 教職員の研修

### ①第1回 保小研修会

実施日 令和2年6月29日

内 容 講義・演習 「幼小連携・接続」が必要なわけ

講 師 島根県幼児教育センター 川上 洋子 指導主事

#### ○ねらい

保育園と小学校の教職員が一緒に学び、幼児教育の仕組みや指導をつなぐ方法を知る事を通し、自校の保小連携の在り方を見直すきっかけとする。

#### ○成果

スタートカリキュラムを「幼小接続期カリキュラム」と捉え直し、幼児教育と小学校をつなぐものという意識を持つことができた。子供の育ちの連続性や一貫性を保つことの必要性を知り、入学当初の1年生に対しての認識を共有することができた。

### ②第2回 保小研修会

実施日 令和2年7月30日

内 容 講義・演習 幼児期の教育・子供の見取り

講 師 島根県幼児教育センター 川上 洋子 指導主事

#### ○ねらい

幼児教育の仕組みを知り、今後の保小交流の在り方や教職員の視点を広げる。

#### ○成果

講義・演習を通して、夏休み中の保育参観での視点を持つことができた。演習では動画を視聴し保育園、小学校の教職員と一緒に「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を「資質・能力の3本の柱」に当てはめ、考えることができた。

### ③小学校教員による保育体験

実施日 令和3年8月 4日, 5日, 6日 9:00~11:30

内 容 ・園の概要説明

・各クラスに分かれて、保育体験を行う。

(プールの見守り、食事介助、製作補助等)

#### ○ねらい

保育体験を通して、就学前の幼児の理解を図り、保育園と小学校の滑らかな接続に活かす。



### (3) 接続期の教育・保育活動

#### ①小学校の実践

##### ○ねらい

保小連携や接続期の教育活動を充実させることを通し、学校生活を安心して送ることができるようにする。

##### ○実践

###### ・保小接続カリキュラムの作成

新入生が安心して過ごせるようスムーズな接続を目指し、保育園・小学校で協議し作成した。五箇の子につけたい力として、共通してコミュニケーションの力を掲げ、「聞く・話す・動く」を中心に手立てや活動を資料に整理した。

###### ・保小情報連絡会の開催

保小情報連絡会を入学前・入学後、複数回に渡って行った。入学前には、保育園での生活の積み重ねや児童の情報交換などを行った。入学後は、学校生活の様子や子供の情報共有など、子供の様子を中心に語り合った。入学した週に昨年度年長児担任・園長による学校生活参観・情報交換会を行った。

###### ・校内での見取り

スタート数週間の1年生の様子をしっかりとみとり、安心した学校生活につなげるために、小学校の教職員全員で1年生の様子を記録・共有した。

##### ○成果

・保小接続カリキュラムをもとに、これまでの育ちをつないでいくことに取り組んだ。「聞く・話す・動く」の力を中心に0からではなく、つけてきた力をのばしていくことを意識することができた。

・入学前の保小情報連絡会で共有した朝の活動などを小学校でも継続した。「保育園でもしてたよ」という言葉もあり、新しい環境の中、これまでしていたことが安心感や自信につながると感じた。保小情報交換会で子供の様子を中心に語り合うことや保育者参観を行うことで、継続して子供たちを見ることができ保小両方の安心感にもつながった。

・校内の教職員全体で入学後の1年生の様子を見取ったことで、学校全体で1年生と関わるという意識を持って過ごすことができた。1年生の姿を付箋に書き留めていくことで、そうじや休憩など担任が見切ることのできないところもあとから様子を知ることができた。

・入学したての子供たちは、新しい生活に楽しみな気持ちも不安な気持



ちも持っている。保育園での経験をつなぐことや視覚的な支援、担任を中心とした教職員の関わりなど安心してスタートできる環境が大切である。保小の教職員が意識を共有し、語り合いながら進めて行くことの重要性を感じた。

## ②保育園の実践

### ○ねらい

小学校生活を見通した活動を行うことで、年長児が安心して、小学校生活になじむことができるようにする。

### ○実践

#### ・「ごかしょうがっこうをつくろう」

小学校を身近に感じるために、五箇小学校内の地図を作り、小学校の教職員の顔写真と名前を貼った。作成した地図を掲示した。



#### ・朝・夕の集まり

保育園では、3～5歳児で朝・夕の集まりをしている。その際、日付や経験したことの発表に取り組んでいる。



### ○成果

- ・年長児とマップを作成し掲示したことで、小学校を身近に感じる事ができた。教職員の顔と名前がわかり、入学後の安心感につながった。また、マップを作る中で、行ってみたい場所ができ、わくわく感を持つことができた。
- ・3歳児から朝・夕の集まりをすることで、人前で話すことの経験が積み重なり、話すこと・聞くことへの慣れにつながっている。また、保小の情報交換の場で集まりの流れを共有し、小学校でも流れを継続したことで、新入生は抵抗感なく全体の前で話すことができた



#### 4 接続カリキュラムについて

##### (1) カリキュラム作成・実践・改善の実際

保小のスムーズな接続を目指し、令和2年度に作成した。五箇の子につけたい力として、コミュニケーションの力を掲げ、「聞く・話す・動く」の3つの柱を設定した。これらを中心に、保育園が5歳児後期からのアプローチカリキュラムの部分を、小学校が入学後の1学期部分を作成した。作成したものを持ち寄り、細かなすり合わせを行った。

令和3年度入学生から実施し、入学に合わせて小学校では、職員会議の中で接続カリキュラム・週案（学習内容）について説明・確認を行った。また、保小担当者によるカリキュラムの確認と共通理解を図った。

5 幼小連携・接続に関する年間計画（実際）

時期	令和2年度 ○…交流活動 ◆…職員交流、研修等	令和3年度 ○…交流活動 ◆…職員交流、研修等
4月		◆保育園職員による、新1年生の観察
5月		
6月	<p>年間を通した日常の関わり ○保→小 昼休みに校庭へ行き、一緒に遊ぶ。 ○保⇄小 毎月の園だより、校報を互いに配付しあい、掲示する。</p> <p>◆保小合同研修会 ○小学校マラソン大会（園児応援）</p>	<p>年間を通した日常の関わり ○保→小 昼休みに校庭へ行き、一緒に遊ぶ。 ○保⇄小 毎月の園だより、校報を互いに配付しあい、掲示する。 ◆毎月の担当者会の実施 ◆交流活動に関わる綿密な打ち合わせ ◆参観日における保育士の授業参観</p> <p>◆1年生活科 公開授業、授業研究会 保育園職員参加 ○3年総合 夢のいかだを作ろう ○小学校マラソン大会（園児応援） ○ふれあい運動会</p>
7月	◆保育参観 ◆保小合同研修会	○3年総合 夢のいかだを作ろう ◆研究保育（小学校教員2名参加）
8月		◆保育体験
9月		
10月	○3年総合「五箇の福祉探検隊」 ○4年総合「芋づるリースを作ろう」	○4年総合「芋づるリースを作ろう」
11月		○3年総合 チャレンジおまつり
12月	○「えがおかがやく発表会」	
1月		
2月	◆保小合同研修会 ○「一日入学」1・5年と年長児交流	○一日入学 新1年生と1年生との交流
3月	2年生活「明日へジャンプ」 発表と交流	

## 6 研究の成果と課題

### (1) 取り組みの成果

#### ①子供たちの様子

- ・ 接続カリキュラム、アプローチプログラムの改善、実践により、新入生が安心して学校生活をスタートし、円滑に学校生活に馴染んでいくことができた。
- ・ 綿密な情報交換会の実施により、保育園での実践を無理なく小学校でも取り入れたことで、例年よりもさらに安心して学校生活をスタートできた様子であった。
- ・ 園児と小学生の交流活動では、それぞれねらいにせまる交流活動を重ねることができた。その中で、児童、園児がいきいきと活発にコミュニケーションを取り合い、仲良くなっていく様子を見ることができた。

#### ②教員、職員の様子

- ・ 新1年生を全教職員でみとる体制作りにより、1年担任だけでなく、小学校全体で新1年生を見守り、支えることができた。また、この取り組みの結果、新1年生の良い姿を沢山見ることができ、保育園へ伝えていくことができた。
- ・ 研修会の実施や保育体験により、保小がお互いの教育、保育について理解を深めることができた。それにより、子供の育ちについて共に考えようとする風土ができていった。さらに、保小互いに子供の話をする時、だんだんと固有名詞で話をするようになった。常に子供の姿を中心に置き、些細なことでも気軽に相談し合える雰囲気が出ていった。保育園と小学校の間にだんだんと構築されてきたものは、信頼関係であった。この信頼関係は、当初お互いに感じていた遠慮や多忙感といった問題を解決し、今では、よりよい接続や連携を図っていく礎となっている。

### (2) 今後の課題

- ・ 現在の接続、交流の体制を、今後も続けていくこと
- ・ 交流事業について、各学年の発達段階をもう少し考えた内容としていくこと

## 令和3年度 五箇小学校スタートカードカリキュラム

	4月	5月	6月	
行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人学式</li> <li>・交通安全教室</li> <li>・授業参観日(国語)</li> <li>○全総校際上北行式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭訪問</li> <li>○小体連係上大会北行式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観(国語)</li> <li>・春の遠足</li> <li>・ふれあい運動会</li> </ul>	
児童の姿	学校教育目標「豊かな心を持ち、自ら学び考え、たくましく生きる五箇の子どもを育てる」 ～やさしく、かしこく、たくましく～ 思いやりのある子(心)よく考える子(技)明るく元気な子(体)			
教科としての指導事項	<p>【国語】◎教師の問いかけに対して、絵を見て話す。</p> <p>◎相手や場面に応じて、言葉遣いに気を付けて話す。</p> <p>◎読み聞かせを楽しく聞くことができる。</p> <p>◎正しい姿勢で鉛筆を持つことができる。</p> <p>◎友達と自己紹介をし合うことができる。</p> <p>◎場面に応じた声の大きさを話することができる。</p> <p>◎語のまとまりに気を付けて、音読することができる。</p> <p>◎音節と文字の関係に気づくことができる。</p> <p>【算数】◎もの集まりに着目して個数を比べる。</p> <p>◎10までの数の読み、書き、系列を理解できる。</p> <p>【生活】◎学校の施設、職員がわかり、楽しく安心して生活することができる。</p>	<p>【国語】◎絵を見ながら、尋ねたり質問に答えたりできる。</p> <p>◎平仮名で濁音を含む単語を書くことができる。</p> <p>◎リズムや繰り返しの響きに注意して音読できる。</p> <p>◎語のまとまりや言葉の関係に注意して文を書く。</p> <p>◎主語と述語の関係に注意して文を書く。</p> <p>◎促音や半濁音のある言葉に気を付けて正しく書ける。</p> <p>◎気持ちや話を話したあとに、そのわけを話すことができる。</p> <p>【算数】◎5までの数の合成・分解を理解できる。</p> <p>◎順序数の意味を知り、ものの位置を表すことができる。</p> <p>◎6～10の合成・分解と10の補数関係が理解できる。</p> <p>【生活】◎植物を継続的に栽培して、その変化や成長に気付き、植物に親しみをもって大切にできるようにする。</p>	<p>【国語】◎長音・拗音のある言葉を読み書きでき、助詞の「を」「へ」を文中で使える。語と語をつながり助詞「は・を・へ」を文の中で使える</p> <p>◎説明の順序や内容を考えながら読むことができる。</p> <p>◎自分の体験や話しながらに気を付けて順序よく話すことができる。</p> <p>◎はつきりした発音や口形に気を付けて声をだす。</p> <p>◎書くこととする題材を観察して必要な事柄を集めて書くことができる。</p> <p>◎語や文としてのまとまりに気を付けてリズムよく読むことができる。</p> <p>【算数】◎ものの形を認めたり、形の特徴をとらえたりすることができる。</p> <p>【たし算】◎記号や式のよみ方が理解して10以下のたし算ができる。</p> <p>【たし算】◎自然と関わり、自然の不思議さやみんなの遊ばしさを感じ、安全に気を付けながら、夏の遊びをすることができ。</p>	
活動のねらいと内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆主体性を持って行動し、見通しを持って生活する。(生活習慣の自立)</li> <li>・学校生活のリズムに慣れ、時間ごとに活動をしたり、場所を変えたりできるようにする。</li> <li>・自分の持ち物を確認して、準備や片付けをできるようにする。</li> <li>・校内・登下校の安全指導をおおして、安心して学校生活を送れるようにする。</li> <li>◆友達や先生との人間関係を築き、一緒に生活したり学習したりできるようにする。</li> <li>・休み時間や友達や先生と遊び、良好な人間関係を築けるようにする。</li> <li>◆身近な人、もの、ことに興味や関心を確かめて、お互いに気持ちよく生活・学習ができるようにする。</li> <li>・集団行動するときの約束を確認して、今後の生活をより良くしていくけるようにする。</li> <li>・学校生活・行事等を通して、興味や関心を広げて、今後の生活をより良くしていくけるようにする。</li> <li>・教科の特徴を知り、友達と一緒に学ぶ楽しさを感じて、学習への意欲を高める。</li> </ul>	<p>【特別活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*朝読書：豊かな感性を育てる。</li> <li>*朝マラソン：体力向上をはかる。</li> <li>*給食：基本的な生活習慣を身に付ける</li> <li>*掃除：勤労意識を育てる</li> </ul>		
挨拶	<ul style="list-style-type: none"> <li>□自分の名前を呼ばれたら大きな声で返事ができる。</li> <li>□先生や友達に挨拶をすることができ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□先生や友達に元気よく挨拶をすることができ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□先生や友達に元気よく挨拶をすることができ。</li> <li>□来客や地域の方に自分から挨拶をすることができ。</li> </ul>	
体力	<ul style="list-style-type: none"> <li>□自分の荷物をもって、自宅から学校まで歩いて登下校することができる。</li> <li>□休み時間、友達と外で元気よく遊ぶことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□朝マラソンに参加して、走ることができ。</li> <li>□体育館や校庭でも友達と元気よく遊ぶことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□朝マラソンに参加して、最後まで走ることができ。</li> <li>□色々な場所で友達と元気よく遊ぶことができる。</li> </ul>	
給食	<ul style="list-style-type: none"> <li>□手洗い・うがいをしっかりと行い、自分の当番をすることができ。</li> <li>□食事のマナーに気を付けてたべることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□手洗い・うがいをしっかりと行い、自分の当番に責任を持って、取り組むことができる。</li> <li>□食事のマナーに気を付けて、残さず食べることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□手洗い・うがいをしっかりと行い、自分の当番に責任を持って、取り組むことができる。</li> <li>□食事のマナーに気を付けて、残さず食べることができる。</li> </ul>	
話聞	<ul style="list-style-type: none"> <li>□話をしている人を見て、最後までしっかりと聞くことができる。</li> <li>□相手や場面に応じた言葉遣いを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□姿勢を正して、話をしている人を見て、最後までしっかりと聞くことができる。</li> <li>□相手や場面に応じた言葉遣いを知り、話すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□姿勢を正して、話をしている人を見て、最後までしっかりと聞くことができる。</li> <li>□相手や場面に応じた言葉遣いを知り、話すことができる。</li> </ul>	
読書	<ul style="list-style-type: none"> <li>□読み聞かせを静かに聞いて、想像を膨らませることができる。</li> <li>□本に興味を持ち、自分で本の管理をすることができ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□絵本を開いて、静かに10分間読書をする事ができる。</li> <li>□よく読む本の位置がわかり、図書室のマナーを守ることができ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□絵本を開いて、静かに10分間読書をする事ができる。</li> <li>□学習で使う本のおおよその位置がわかり、図書室のマナーを守ることができ。</li> </ul>	

保幼小連携・接続 交流活動案

実施月日	令和3年 7月12日(月)
校園名・学年・人数	ごが保育園年長児9名 / 五箇小学校3年生13名
活動名	夢のいかだを作ろう
実施場所	ごが保育園
交流活動全体のねらい	異年齢間の交流を通し、相手の気持ちを考えながら（相手意識をもつ）主体的に異年齢の友達と関わろうとする力を培う。
	年長児・3年生の姿や話をしっかり見たり聞いたりしながら、思い描いていたいかだを完成させよう
	児童・年長児が安全に楽しく活動できるように、相手の思いを積極的に聞き出ししながら、サポートすることができる。
総合的な学習の時間のねらい(小)	年長児の考えや思いを積極的に引き出しながら、年長児をサポートすることができ
準備物	・名札(色ガムテ)・〇〇時計・隠岐の風 CD ・材料となる物(ペットボトル/牛乳パック/発砲スチロール/浮き/ポリ袋/流木/布/不織布/段ボール/新聞紙/ひも/ストッキング等) ・道具(布ガムテープ/セロハンテープ/ビニールテープ/ハサミ/カッター/目打ち/接着剤/ボンド/糊/グルーガン/マジックペン/クレヨン/ペンキ等)

<活動の展開>

保育所・幼稚園	時間	活動の流れ	小学校
●幼児の活動 ○保育者の援助			◆児童の活動 ◇教師の支援
●グループごとに並び ○緊張がほぐれるよう、簡単なふれあい遊びを行う	10:00	①はじめの会<遊戯室> ・挨拶(3年生) ・ふれあいあそび ・流れの説明(河田) ・約束こと確認(河田) ・めあて確認(年・児)	◆グループごとに整列をする ◆緊張がほぐれるよう、簡単なふれあい遊びを行う。
●わからないところ、できないうちを、お兄さんお姉さんに聞きながら思い描いていたいかだを完成させる ○ペアの年長児・3年生が互いに協力できるよう見守り、必要に応じて援助・言葉かけを行う ○年長児が3年生に思いを伝えられるよう仲立ちをする	10:10	②いかだ作り<保育室> *子どもたちの発想や主体性に任せるが、わからないこと・手伝ってほしいことができた場合に備え、「お助けコナナー」(教員・保育士を配置)を設ける。 *時間内の完成を目指し、作業終了までの時間が意識できるよう「〇〇時計」を活用する	◆年長児の思い描くゆめのいかだを完成させる。(見守ったり、助言を加えたりし、時には手伝ったりしなから年長児のサポートをする) ◇3年生が、年長児の思いを引き出せるよう、必要に応じて仲立ちをする
○片づけの曲♪隠岐の風♪を流し片づけを促す	10:55		◆年長児とともに、片付けを行う。
●がんばったところ・良かったところなどを言う ○がんばったことを認め満足感が高まるようにし、今後の活動への期待が持てるような言葉かけをする	11:00	③片づけ ④おわりの会<遊戯室> ・グループで振り返り ・班長発表 ・お礼・挨拶(年長児)	◆振り返りの中で、年長児ががんばったところ・良かったところなどを伝えられるよう、質問しなから振り返る ◆各グループのいかだについて、リーダーが紹介を行う。

<振り返り>※ねらいに即して振り返る

	年長児	児童
	<p>【様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いつもと違う雰囲気が出てしまう子や緊張気味の子が居いた。</li> <li>時間内の完成を目指したが、完成できなかった。</li> <li>完成はできなかつたものの、子ども達は自分が思い描いていた夢のいかだに近づく、嬉しそうだった。</li> <li>初めは赤いガムテープで2本のいかだをつないだが、ビニールテープの方が切りやすかつたのでビニールテープに変えた。時間はかかったが、満足していた。</li> </ul> <p>【感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽しかつた</li> <li>いかだに乗るのが楽しみ</li> </ul>	<p>【様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>以前は、自分のしたいことを優先的にしていた児童が、年長児に声をかけたり、ほめたりする場面があつた。</li> <li>「はじめはほくがやがやがあげて」などの発言が聞かれた。</li> <li>どうしていいかわからない児童の姿があつたが、その場を離れず、見守っていた。</li> </ul> <p>【感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年長児さんをサポートできた</li> <li>今回はうまく話せることができてよかった。</li> <li>夢のいかだを作つて楽しかつた</li> <li>ひもで結ぶのができてよかった</li> <li>たくさんの材料があつて楽しかつた</li> </ul>
幼児・児童の様子や感想	<p>沢山の材料があり、環境面でも児童や年長児の活発な活動を助長していた。</p> <p>時間が足りなかつた。時間設定に課題が残つた。</p> <p>年長児、児童両方、しっかりとめあてを確認し、活動に移ることができた。</p> <p>振り返り活動が充実させたことで、次の交流につなげることができた。</p> <p>事前の打ち合わせにより、充実した活動となった。</p> <p>児童の年長児への関わり方がとても成長してきている。</p>	<p>第4回の交流で、更に活発な交流が生まれることに期待したい。</p> <p>児童の、年長児に対する関わり方に成長を感じる</p>
評価 (全体を通して)	総合的な学習の時間について	



追加資料

教育委員会の取り組みから



## 令和3年度 保小連携・接続研修会（振り返り）

隠岐の島町教育委員会 総務学校教育課

隠岐の島町役場 保健福祉課

1. 目的 ごか保育園と五箇小学校が2年間にわたって取り組んできた連携・接続の成果を鑑み、幼児教育（保育）と学校教育の連携・接続は子供たちの成長にとって、とても重要であると隠岐の島町としても改めて感じているところである。

そこで、町内全域の保育所・園と小学校の合同研修会を通して、保小連携・接続の理解を深めるとともに、実践意欲を高め、今後は隠岐の島町内全域にわたって、それぞれの地域や子どもたちの実態に即した連携・接続が充実していくきっかけとする。

2. 期 日 令和4年2月10日（木）14：30－16：30

3. 講 師 松江教育事務所 川上洋子指導主事

4. 参加者

隠岐の島町小学校参加者	10名
隠岐の島町幼児施設参加者	14名
隠岐教育事務所	2名
総 数	26名



5. 研修の内容

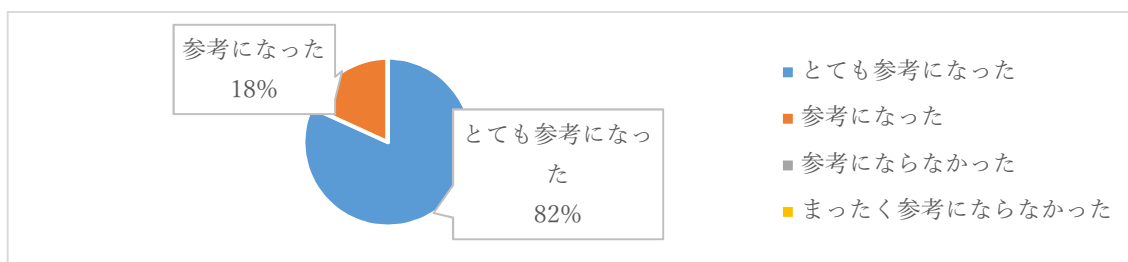
- (1) 講義『保小連携・接続を進めるために』
- (2) グループ協議① 課題や困り感の共有
- (3) 質疑応答

各班からでた課題や困り感に対して、講師やごか保育園、五箇小学校の職員が、解決策やヒントなどのメッセージを伝える。

- (4) グループ協議② これからやってみたいことを話し合い、発表する。
- (5) まとめ

6. 参加者のアンケート結果より

- (1) 研修会について



## (2) 参加者の感想等（一部抜粋）

- 講師の川上先生は、幼児教育と学校教育の違いや共通している部分を現場の写真や図を用いながら、わかりやすく説明してくださり、とても勉強になりました。
- 連携、接続の必要性を学校と保育園の職員が同じ場で理解を深めたことはすごく意義があったと思います。グループ討議で、“来年は交流しましょう”と話しが出来て、きっかけ作りをしていただけました。交流を重ねる中で、子どものいい姿を語り合えるようになっていけたらと思います。
- 校区内の保・小が同じグループであったため、話もしやすく、これからの取り組みについても話題にしやすいかった。
- 連携に力を入れてこられた五箇の先生方の話の中で、まずはお互いに気軽に行き来し、職員同士が仲良くなった事で話しやすい雰囲気になったという事でしたので、小さな事から交流を深め、保育園としては伝える努力をしながら、子どもたちのいい姿を語り合える、そんな連携を目指していきたいです。
- 現在1年生を担当しているため、子どもの認識（見取り）について大変勉強になりました。



## 7. 研修会の様子等から

講演会では、幼児教育、学校教育の共通点や相違点について考えることを通して、子どもの学びの連続性や、体系的な教育の重要性について理解し、また実現に向けての意欲が高まったと思われる。

その後のグループ活動においても、積極的な発言、また建設的な意見交換がなされ、参加者各自にそれぞれの想いや具体的なアイデアが蓄積されたのではないかと想像できる。

そして、ごか保育園、五箇小学校の先生方には、生の経験を通して感じた難しさや困り感、そして実際の実践を通して実感した子供や職員の変化について伝えていただけたことが、各地域での連携・接続に向けた具体的な取り組みのヒントにつながったとともに、実践意欲につながったように感じた。

本研修をきっかけに、各地域の実態に合わせた具体的な連携・接続が充実していくことを期待したい。隠岐の島町としても、今後も引き続き、より良い連携・接続が実現するよう、各保育所・園や学校のニーズに応えられるような研修会を実施するなど、積極的な取り組みを進めていきたい。

